

推薦図書

学生の皆さんに対する推薦図書を各学科長及び主任の先生方にお願ひしました。

新年度の進級、進学を期にコミックだけでなく、掲載図書を参考にして幅広く活字に親しんで下さることを希望します。掲載は学部・学科順です。

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
法学入門	団藤重光	筑摩書房 1973 (現代法学全集1)	法学に関する一般的教養書として本書を推薦します。なお、本書について興味を持たれたかたは、同じ著者の「刑法紀行」(創文社)「わが心の旅路」(有斐閣)も一読に値する。(経法・王)
契約社会	道田信一郎	有斐閣 1987	日本・アメリカ・イギリスの契約社会文化に関する違いを知ることに役立つ。なお同じ著者がアメリカ・ヨーロッパ・日本の大企業と独禁法の問題を扱った「独占への審判」(日本経済新聞社)も一読。(経法・王)
法の実現における私人の役割	田中英夫 竹内昭夫	東京大学出版会 1987	法の実現における私人の役割について、弁護士の利用、当事者適格の拡大、行政機関による私的訴訟の援助、自力救済、損害賠償などの点について、日米法律制度の違いを考察した好著。(経法・王)
いま政治に何が可能か	佐々木毅	中央公論社 1987 (中公新書)	政治的意味空間の再生のために、戦後生活の総決算として現代日本政治の隘路を考察した好著。(経法・王)
1ドル=100円時代の日本経済	鈴木正俊	日本経済新聞社 1987	書名はややセンセーショナルだが、内容は冷静な筆致で円高の必然性とその対策を示している。(経済・鈴木)
コメをどうする — 農政改革の ころ—	叶芳和	日本経済新聞社 1987	混迷した論議の多いコメ問題の中で、規制緩和によって市場原理を復活させ、農業の再活性化をはかるとした明確な改革論である。(経済・鈴木)
高齢化問題への 企業戦略	西田耕三	有斐閣 1980	高齢化社会の下における人事管理の主要な問題点を日本的経営の特質との関連においてわかりやすく解明している。(経営・齋藤)
経営管理	野中郁次郎	日本経済新聞社	経営管理論における主要な問題領域が、経営管理過程との関連で体系的に解明されており、しかも比較的平易に記述されているので、経営に関する基本的理解力を身につけるのに最適な文献である。(経営・齋藤)
企業形態論	占部都美	白桃書房 1977	資本主義的企業の制度的本質が明快に解明されており、経営学科の学生には必読の基本文献の一冊である。(経営・齋藤)
サラリーマンの 哲学	占部都美	光文社 1985 (光文社文庫)	学術書というよりは啓蒙書として書かれているが、現代のサラリーマンのおかれている位置を、企業経営の動向との関連で、大変にわかりやすく描写しており、「経営」の本質について深い洞察力が得られる。(経営・齋藤)
日本人と会社	三戸公	中央経済社 1981	日本的経営の特質を組織理論、とりわけ官僚制組織論の立場からとりあげ、内容的にも方法的にもユニークな「日本の経営論」が展開されている。(経営・齋藤)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
覇者の驕り(上) (下)	ディビッド・ ハルパース著 高橋伯夫訳	日本放送出版 1987	日本の技術はすばらしい、世界一級であると云われているが、果して本当だろうか。これまで日本の成功を支えてきたものは今後も通用するだろうか。驕れるもの久しからず。努力を忘れた日本はどうなるのか。本書はそのような日本に対する警鐘の書である。 (化学・神川)
ビジネスマンの 父より息子への 30通の手紙	キングスレイ・ ウォード著 城山三郎訳	新潮社 1987	本書はビジネスマンの成功のためのノウハウやテクニックがつまっていると訳者は述べておられる。私は日頃他人の息子さんの世話ばかりして、自分の息子は放ったらかしである。この書を息子に送って放任の埋め合せにしたい。 (化学・神川)
生命科学の基礎	鈴木米三, 吉田精一, 南川隆雄	理工学社 1987	ライフサイエンスは最近すさまじい進歩をとげているが、生命現象の分子レベルでの物質的側面をてっとり早く理解させる著書は比較的少ない。本書は小冊子ながら基礎から最近の成果までを見通せるという意味で、非生物学系の学生の参考書に推薦したい。 (化学・神川)
きけわだつみの こえ(上・下)	日本戦没学生 記念会編	光文社 1985 (光文社文庫)	太平洋戦争中、学徒動員等で戦死・刑死した学生達の遺稿。「生きる」こと、生命の尊さを考えてほしい。 (応化・吉原)
不惜身命	奈良本辰也	徳間書店 1985 (徳間文庫)	幕末の動乱期に日本の夜明けのために身命を賭けてその理想の実現に邁進した若者達の物語。ロマンある人生とは何か考えてほしい。 (応化・吉原)
ノーベル賞の発 想	三浦賢一	朝日新聞社 1985 (朝日選書279)	自然科学系のノーベル賞授賞者の発想の原点を記した話。独創性の何かを教えてくれる。 (応化・吉原)
大谷光端(上・ 下)	杉森久英	中央公論社 1977 (中公文庫)	明治の夜明け時代、探検家として世界に雄飛した知識人の物語。 (応化・吉原)
独学のすすめ	加藤秀俊	文芸春秋 1978 (文春文庫)	人生は一生涯勉強することである。学校に行くことだけが勉強ではなく、身近なところにその材料がある。 (応化・吉原)
極限状態と材料	日本材料学会	裳華房 1987 (先端材料シリーズ)	新素材あるいは超先端材料の極限状態を論じた参考書 (機械・生田)
ロボット工学- 機械システムの ベクトル解析-	広瀬茂男	裳華房 1987 (機械工学選書)	ベクトル解析手法によるロボット機構と動力学の取り扱い方を論じた参考書 (機械・生田)
ファインセラミ ックス事典	ファインセラ ミックス事典 編集委員会編	技報堂出版 1987	ファインセラミックスの歴史をはじめ基礎データ並びに応用技術に至るユニークな辞典 (機械・生田)
メカトロニクス 入門	竹田晴見	昭晃堂 1987	メカトロニクス習得に必要な基礎的事項に重点をおいた参考書 (機械・生田)
理科系の作文技 術	木下是雄	中央公論社 1981 (中公新書624)	理科系の学生が論文レポートなどを書く場合に、内容をどのように組み立て、表現をどうするかについて明快・簡潔に説明した指導書であって、多くの大学において指定図書となっている。 (土木・篠原)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
雪と氷の世界から	樋口敬二	岩波書店 1985 (岩波新書)	有名な中谷宇吉郎の「雪」に魅せられ、又導かれて、雪と氷の研究の道を歩みつつある著者の研究の歴史を書いたもので、自然界の研究の面白さ、雪と氷の世界のロマンに、又師の思い出に興味はつきない。 (土木・篠原)
土木へのアプローチ	樺木 享 柴田 徹 中川 博次	技報堂出版 1984	昨今、土木工学や土木技術の理解を求めてキャンペーンが行われているが、本書は土木工学科以外の学生にも、又土木工学科の学生にも、いかに土木工学が社会の活動にとって大切な学問であるか、極めて分かり易く、解説された読み物である。 (土木・篠原)
荒廃するアメリカ	P.チョート, S.ウォルター著 社会資本研究会訳 (岡野行秀監修)	開発問題研究所 1982 (開発選書)	アメリカ社会資本研究の入門書ともいわれる名書で、公共投資を怠ったアメリカに何がおこりつつあるか。特にアメリカの悲劇を解析し、わが国が荒廃する日本とならないためにどうしたらよいか訴えている。 (土木・篠原)
日本の建造物	山田善一 伊藤学・金多深 小堀為雄 山本政雄	朝倉書店 1987	最近の構造物(ビルや橋など)はただ機能を果たすだけでなくその自身美しく、又周囲との景観美を作り出して行くものでなければならぬことが強く指摘されている。本書はわが国の多くの美例について論じたものである。 (土木・篠原)
原子力ーその不安と希望ー	岸本 康	講談社 1986	原子力開発の歴史と将来への展望を語る良書 (原が・姜)
超電導革命	牧野 昇	日本実業出版 1987	セラミック超電導体発見の歴史と将来への展望を簡明に記述している。 (原が・姜)
「知」のソフトウェア	立花 隆	講談社 1984 (講談社現代新書 722)	「情報」の収集と整理、その活用のための知的生産の技術書 (原が・姜)
理科系の作文技術	木下 是雄	中央公論社 1981 (中公新書624)	研究レポート作成のための、簡潔で明快な表現を追求する作文技術指導書。 (原が・姜)
新しい電気化学	電気化学協会編	培風館 1984	本書は電気化学協会創立50周年を機として、協会の総力を結集して編集された由と記されている。内容は、入門解説書としてイラストを用いて非常に理解され易く、又現在の新素材関係も豊富に紹介されており、初学者のみならず、参考書、教科書としても適切な著書と思考される。 (金属・山口)
金属を知る辞典	長崎誠三 監修	アグネ 1978 (知る事典シリーズ)	本書は、金属とは何か、どんなものがあるか、これほど多くの材料がなぜ使われているか、またどこに利用されているか、といった問題を「金属を知る」事典として明らかにしている。このため、低学年の学生にとって、教科書に入る前の参考書として適切な著書と考えられる。 (金属・山口)
変動する日本列島	藤田 和夫	岩波書店 1985 (岩波新書)	日本列島の生成およびその成因に起因する地質学的な問題点について述べている。近畿地方を中心に論じているので面白い。話のスケールも大きい。 (建築・阪口)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
日本の条件 第6巻 食糧(1) 第7巻 食糧(2)	N H K取材班	日本放送出版協会 1982	飼料用穀物の大量の需要を満たすための生産技術が、急速に進歩している反面、自然の無理な利用(改造)が行われ、それに対する自然界のはげしい報復が始まっている。人間の際限のない欲望と自然とのたたかいを考える上での多くの資料が示されている。 (建築・阪11)
最後の海軍大将・ 井上成美	宮野 澄	文芸春秋 1982 ※文春文庫にもあり	戦争に反抗しながら、戦争に協力しなければならなかった運命の中で、大局的な視野にたった(兵学校での)教育者としての信念、および敗戦後の生き方など教えられることが多い。 (建築・阪11)
ヒューマンサイエ ンス 第1巻～第5巻	石井威望・小林 登・清水 博 村上陽一郎 責任編集	中山書店 1984	現代における科学技術の高度化には、目覚ましいものがある。このような状況下で、過去において分からなかった事柄が明確になって来た。このことは、生命、人間を対象にした分野では顕著である。よって、現在の科学研究の方向を、若い頭脳で理解し、併せて、今後の科学研究の進路を思索してほしいと考えて、この書を推薦します。 (経工・馬場)
人間の限界	霜山徳爾	岩波書店 1975 (岩波新書)	人間とは何かという問い掛けは、若い人達にとっては必ず経験する疑問です。この疑問に対して、今まで、多くの良書が世に現れている。この本もその中の一つと考えられる。ただし、この本は多くの歴史的書籍からの語句の引用によって、人間の限界を考察している。この点が従来の書と異なっているので、推薦します。(経工・馬場)
おもしろい心理学	乾 孝	ベストセラーズ 1986 (ワニ文庫)	今までの心理学関係書は、難しいという印象を与えたが、この本は、寝ころがって読んでも、結構退屈しない。しかし、最近の心理学の研究成果にまで言及している点は意味があると考えて、推薦します。 (経工・馬場)
廣川薬科学大辞典	薬科学大辞典 編集委員会編	廣川書店 1983	化学や薬、病気について関係のない人もこれらの事項について知りたいとき非常に参考になる辞典である。アイウエオ順に記載されているので使いやすく、英、独、佛、ラテン語の索引もあり、それらの辞典ともなる。 (医薬・岡崎)
わかりやすい分析 化学入門	岡崎雄交 他	廣川書店 1987	学生向けの参考書で、初歩の人でもイラスト画などを見ながら楽しめる分析化学の入門書である。 (医薬・岡崎)
アニリン—科学小説	K.A.シェンチンガー 藤田五郎訳	法政大学出版局 1953	この小説を読んで、学問の進路に有機化学の道を選んだ人々は教え切れない。しかし、これは有機化学書ではないのである。(薬・百瀬)
人間にとって科学 とは何か	湯川秀樹 梅棹忠夫	中央公論社 1966 (中公新書132)	巨大化しつつある科学は、むしろ人間を超えた存在であり、神にも似た存在ではないか、という年代の異なる二人の思想家対話集である。 (水産・小林)
沈黙の春—生と死 の妙薬—	R.カーソン著 青木築一訳	新潮社 1974 (新潮文庫)	女性科学者による自然保護と化学公害追及の先進的な書。文明そのものが内包する矛盾を知る。 (水産・小林)
理科系の作文技術	木下是雄	中央公論社 1981 (中公新書624)	文章を明快、簡潔に書く要領を基本から教えてくれる。口頭発表のコツも末章にある。 (水産・小林)
新版科学論文の まとめ方、書き方	富田軍二 他	朝倉書店 1975	初めて論文(和文・欧文)を書く者が是非手にすべき書である。版を重ねること30数年、名著と思う。 (水産・小林)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
新版科学論(上・下)	井尻正二	大月書店 1977 (国民文庫)	科学を研究するさいの方法論の重要性をわかりやすく解説している。 (農化・浜田)
吉田ルイ子のアメリカ	吉田ルイ子	講談社 1986 (講談社文庫)	青春をアメリカで過ごした著者がアメリカを愛しながらもアメリカ人にはなれなかった過程が書かれている。単一国民であり、文化・慣習の違い多くの日本人がこのように感ずるのではなからうか。それとともに今も移民の国・難民の国であるアメリカの底知れないエネルギーが感じられる。 (農化・浜田)
ニューウーマン	千葉敦子	三笠出版 1987 (知的生きかた文庫)	一夫一婦制の見直しを唱える著者が、男社会で働いて生きている女性のために、仕事をしながら充実した人生を送るための心構えと生活術を種々の角度からアドバイスしている。 (農化・浜田)
数学への招待	矢野健太郎	新潮社 1977 (新潮文庫)	読者に数学への関心をもってもらうために数学学者のユーモア、伝記と科学的なものの考え方について述べられている。 (農化・浜田)
試験管の中の生命 —細胞研究入門—	岡田節人	岩波書店 1976 (岩波新書)	生物固体から細胞を取り出して培養する技術に焦点をあてながら、発生、遺伝、ガンなどに関する重要問題をわかりやすく解説し、細胞から固体がつくれるか、バイオテクノロジーの未来はバラ色か、などの問いに答えている。 (農化・浜田)
食べ物	森 亘 他	東京大学出版会 1985 (東京大学公開講座41)	食べ物は吾々にとって欠くことのできないものである。この本は食べ物について種々の観点からその重要性がのべられていて食べ物を理解するに役立つだろう。 (食品・吉田)
出臍とオリーブ油	小林 章	富民協会 1983	京大名誉教授 小林先生の随筆集であるが、果樹園芸学者の立場から人生を論じ、楽しく読んでいるうちに果樹についての知識もえられる。 (食品・吉田)
栄養から見た食品加工	A. E. ベンダー 内藤 博・ 加藤博通 訳	講談社 1979	加工による食品中の栄養成分の変化を解説している。食品学を修める学生にとってよい。 (食品・吉田)
夜明け前	島崎藤村	岩波書店 (岩波文庫)	明治維新の変革とは何ぞやを考えさせる最高の文学作品。 (教養・今田)
福翁自伝・新訂	福沢諭吉	岩波書店 1978 (岩波文庫)	日本人自伝中の白眉。杉田玄白の「蘭学事始」なども体験記として貴重。ともに読むべし。 (教養・今田)
定本 柳田國男集 第24巻 明治大正史 世相篇	柳田國男	筑摩書房 1963 ※講談社学術文庫 にも収録	柳田の社会観察眼のするどさを最高に発揮した著作。日本人理解の基本文献。 (教養・今田)
プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	M. ウェーバー 梶山 力・ 大塚久雄 訳	岩波書店 (岩波文庫)	西欧を知る基本文献。問題提起の方法、論証過程のありよう、学生時代から何度読みかえても発見がある。 (教養・今田)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
旺文社英和中辞典	高橋源次、他編	旺文社 1975	見出し語約10万。比較的新語も多く、学習性と実用性を兼ね備えている好辞書。 (一外・長江)
小学館プログレッシブ和英中辞典	近藤いね子、他編	小学館 1986年	日本語の見出し語約7万が up-to-date な英語と例文に移されている。 (一外・長江)
新クラウン英語熟語辞典 3版	大塚高信、他編	三省堂 1986	熟語数・句義・例文の充実、いずれをとっても世界一の熟語専門の辞書。 (一外・長江)
英語の中の日本	石丸 正	中央公論社 1986 (中公新書794)	英語の中に現われた日本像、日本語の分析を通して異文化コミュニケーション問題に迫る。 (一外・長江)
日本語の構造—英語との対比—	中島文雄	岩波書店 1987 (岩波新書)	英語学の大家が日本語と英語の構造の違いを分析解明したもので、英語学習のためにも有益。 (一外・長江)
世界文学大系 第42巻 ツァラトゥストラはかく語った	フリードリッヒ・ニーチェ	筑摩書房 1960 ※岩波文庫・新潮文庫にも収録	今世紀の多様な思想的潮流の源泉ともいえる詩人哲学者ニーチェの代表的作品である。詩的形象によって綴られる説教集は、文明批評家、アンチクリスト・ニーチェ理解への格好の入門書であろう。尚、自叙伝である『この人を見よ』(岩波文庫)も併せて推薦したい。 (二外・丹羽)
ブッデンブローク家の人びと	トーマス・マン 望月市恵 訳	岩波書店 (岩波文庫)	ニーチェの影響を受けたドイツの作家の作品である本書は、一家族の没落史であるとともに、ドイツ市民階級の衰退過程を描く市民社会のいわば社会学的側面史でもある。「世紀末』『デカダンス』が云々される昨今、本書は一層興味深いのではなからうか。同著者の『魔の山』(新潮文庫)も併せて推薦する。 (二外・丹羽)
楡家の人びと	北 杜夫	新潮社 1971 (新潮文庫)	トーマス・マンの影響を受けた我が国の作家の一人である北杜夫の長篇小説である。マンの上記の作品を手本にして描かれた「楡家」の没落史は、明治、大正、昭和という近代日本の重厚な精神史ともなっている。 (二外・丹羽)
ルネッサンスの光と闇—芸術と精神風土—	高階 秀爾	三彩社 1971 ※中公文庫にも収録	本書は E. パノフスキーのイコノロジー(図像解釈学)などに触発されて生れた力作であるが、日頃漠然と見知っているヨーロッパ絵画の作品解釈を読み進むうちに、読者は芸術(文化)のもつ重層的な厚み、奥行きに深さに一驚を喫するであろう。 (二外・丹羽)
明恵 夢を生きる	河合 隼雄	松柏社 1987	最近読んだ書物のうちから一冊を選ぶ。これは、フロイトの『夢判断』(新潮文庫)を継承するユングの分析心理学を学んだ筆者の近著である。鎌倉時代初期の明恵上人を対象にした夢分析は臨床医の科学書として興味深い、同時に我々の心の糧である佛教へのユニークな入門書としても推薦に値する。 (二外・丹羽)
健康・スポーツ科学入門	高島規郎 東 照正	医療科学センター 出版部	スポーツや健康問題を考えるためのひとつの基礎になる人体生理学の基本を易しくイラスト入りで説明してある。自分の一生の健康管理のために、この程度のことは勉強しておきたい。 (保体・鶴田)
健康と生活	向坊 隆他	東京大学出版会 1977 (東京大学公開講座25)	健康法や体の病気、心の健康、食物や薬やスポーツと健康の関係など幅広い一般むき講義。「健康への懐疑」(今道)では、健康とは何か、について深い省察が簡明率直に語られる。味読してほしい。 (保体・鶴田)

書名	著者名	発行所	推薦のコメント
アルコール症	J.フォート著 大森正英訳	東京大学出版会 1980 (UP選書203)	「酒の飲みよう」を考えるには、社会の歴史や文化のかたちもふくめて考える必要があるが、若い人にはやはり医学的な常識をもってほしい。アルコールは「飲みもの」ではなく「薬物」である、という立場からアメリカを中心にアルコール依存(いわゆるアル中)の医学・社会問題を一般むきに論じている。(保体・鶴田)
鼻はなぜあるのか	高橋 良	築地書館 1987	一見無用と思われるような一器官の進化論的、生物・医学的考察が身体論・文化論にひろがる。学問の面白さ、生命存在の不思議さを味わって下さい。(保体・鶴田)
見えざる病原体を追って	A.P.ウォーターソン・L.ウィルキンソン著 川出由己 他訳	吉岡書店 1987	「自分自身」を除けば、ウィルスは人類の最後の敵であろう。「人類最大の災害」エイズが注目を集めているが、ウィルス学や免疫学を一般の人が正確に学ぶには、このような歴史的記述が適当と思う。ジェンナー以来100年、多岐にわたるウィルス学の発展をわかりやすく見事にまとめている。(保体・鶴田)
「法隆寺日記」をひらく	高田良信	日本放送出版協会 1986 (NHKブックス510)	今日の法隆寺の歴史的価値、そして繁栄を知る人は多い。しかし、その陰にはどれ程多くの苦難と守り抜いた人々があったかを、本書は改めて提示するものである。(教職・鈴木)
知っておきたいアフリカの歴史	関根良雄	マイライフ社 1986	本書は単なるアフリカの歴史書ではなく、風土・生活文化・植民地主義・民族主義そして文化交流・政治経済的自立等々、広い視野から記述されたものである。現在の日本人に対するアフリカ社会についての啓蒙書的性格の強いものであり、是非一読を推めたい。(教職・鈴木)

